

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

佐賀松浦の家

グループの名称

佐賀県建設産業協会

直近採択グループ番号

04-0020-0720

(グループ代表者)

代表者名

中村 哲

代表者印

代表者所属先

株式会社中村建築

代表者所在地

佐賀県唐津市湊町895-1

代表者電話番号

0955-79-0638

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社松岡工ム店

事務局担当者名

松岡 與志弘

印

事務局郵便番号

847-0033

事務局所在地

佐賀県唐津市久里1384

事務局電話番号

0955-78-0074

事務局FAX

0955-78-2427

事務局担当者E-mail

matsuoka-koumuten@nifty.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	2棟				
			165㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	各補助事業に参加を希望する工務店全社に、最低一戸を配分し、その上で、これまで長期優良住宅への取組実績が少ない工務店又は、未経験工務店に、優先的に配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	6戸	交付申請戸数	6戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 佐賀松浦の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、福岡県、長崎県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 佐賀県建設産業協会	(結成年) 1963 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0020-0720	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○長期優良住宅の認定(地震と台風に強い家)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○「H28年省エネ基準」の仕様を満たした温暖化型住宅 ○県産材をあらわしとして、ふんだんに利用した木の温もりを感じる家	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○「佐賀松浦の家」の市場認知度向上に向けた取り組みを行い和の住まいの推進に関する取組みを行う	○
④①～③の背景	○多くの山や川に恵まれた自然豊かな土地、台風の通り道で、数年ごとに災害が発生している ○主な森林資源は杉人工林、寒冷な気候の下で生育した県産杉は、他地域に比べ目が詰まっており粘り強く肌触りがよい ○佐賀城・唐津城があり城下町の風情を残している。景観条例が都市計画で施工されている	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○省令準耐火構造又は、耐震等級3とする	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は桧とし105×105以上、柱は杉又は桧とし105角以上を使用	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 佐賀県産材認証制度によって産地証明のなされた佐賀県産材を主要構造の50%以上使用 主要構造材(柱、梁、桁、土台)に地域材(九州産)を80%使用する	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 内装材(床、壁、天井)に地域材(九州材)を活用する事とし、10㎡以上の面積に使用する	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀県産木材を一括で購入するルールを確立する	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀県建設産業協会を事務局として調達事務の合理化を図る	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 木材・建材検討WGを設置し、グループとして地域型住宅に使用する木材の選定を行い、主に施工グループを対象とした木材の共同購入リストを作成し、事前に年間の使用量の割り出しを行う。年間に2回程度開催する	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準見積書・木材明細書を元にグループ事務局がチェックリストで確認する	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技術委員会を立上げ性能や技術の向上、信頼性向上に向けた施工基準を整備する	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 上記と同様に技術委員会の中で検査ルールの設定について取り決める	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループとしての「標準見積書」の作成と、積算手法の標準化の取組み。それによる、消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 「標準見積書」を使用して消費者への提示・説明の義務化	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 佐賀松浦の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、福岡県、長崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 佐賀県建設産業協会	(結成年) 1963 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0020-0720	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理計画書の提出と指定図書を住宅履歴情報として「いえもり・かるて」(情報サービス機関)に蓄積	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)JBN, (一社)全国木造建設事業協会	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 指定期間(1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年)の点検の実績と完了報告の義務化	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理計画書による	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN住まい管理手帳(戸建て編)による	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検の実績と完了報告の義務化	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN住まいの管理手帳を活用した、施主講習会を年2回程度開催する	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を利用しJBN住まいの管理手帳を利用した住宅の点検とお手入れの仕方がわかるセミナーを年2回程度開催する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループで設置されている。年2回程度開催する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局内に「すまい相談窓口」の設置し、瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅の引き渡し時に「重要事項説明書」としての説明の義務付け	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 地域型住宅1棟当たり1万円の積立てを行い、廃業時の調査費として使用し、消費者にメンテナンス引き受けに関する提案と説明を実施	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・施工グループ構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会等の計画を立て長期優良住宅の経験メンバーを中心として、施工現場での施工勉強会の実施(年2回)	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅認定又は設計性能評価を取得する	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記書類を事務局に提出	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心として、未経験構成員のサポートチームを作り提案から設計・施工までアドバイスが可能な体制を作る	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術力向上のため「技術研究発表会」を開催する(年1回)	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に向けて具体的に提案できるよう住まい手像を明確にした長期優良住宅プランを作成し、仕様や見積りの内容を共有する	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 2	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数 3	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会への参加を義務付け	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ中心としたグループを立上げ、「葉付乾燥」による天然乾燥を確立させる	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 佐賀松浦の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、福岡県、長崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 佐賀県建設産業協会	(結成年) 1963年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0020-0720	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎
<p>主要構造材として、品質・性能・強度が明確に判断できる材を使用する事 地域材の供給が安定的に行え、住宅建築のコストの高騰を避ける事が出来る事</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</p> <p>使用する地域材として、材のコスト・品質・強度・納期を考慮し主要構造材に関して、合法木材の使用を認める 長スパンにおいては、PEFC認証証明書が取得できれば認める</p>		◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局が地域材の供給グループ(原木供給・製材・集成材・合板・流通)による、地域材の出荷状況等の情報提供を行い全構成員が情報を共有できる体制をとる</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局が地域材の供給グループ(原木供給・製材・集成材・合板・流通)による、地域材価格の情報提供を行い全構成員が情報を共有できる体制をとる</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ全体における地域材400㎡</p>	○
c	<p>①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 枚</p> <p>①-2 和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数:400坪</p> <p>①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 枚</p> <p>①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域で制作される陶器製洗面ボールや小物を意識した提案を行い、地域を意識した地域型住宅として、基本仕様1ヶ所以上組み込む。</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀市・唐津市等で景観計画が指定された地域ではそのルールを遵守するとともに、佐賀市や唐津市等の城下町では瓦屋根を採用する</p>	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください		

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地のグループとの交流を予定している(交流・情報交換)	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	全県連、JBNと連系し、熊本地震被害住宅復旧工事支援等に積極的に係わり、被災住宅の補修等のための相談制度に協力する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 佐賀松浦の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 佐賀県、福岡県、長崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 佐賀県建設産業協会	<small>(結成年)</small> 1963年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0020-0720	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
1. 認定低炭素住宅	<input type="checkbox"/> 外皮については、省エネルギー基準(平成28年告示基準)以上とし、一次エネルギー消費量に対しては低炭素建築物認定基準相当(平成24年告示基準)に対して90%削減した建築物とする。  <input type="checkbox"/> 省令準耐火構造又は耐震等級3は適用除外とする。	
2. ゼロ・エネルギー住宅	<input type="checkbox"/> エネルギー計算は、省エネルギー基準(平成28年基準)に準拠した計算とすること。  <input type="checkbox"/> 住宅の年間の一次エネルギー消費量(太陽光発電による総エネルギー分を除く)が、平成28年基準における基準、一次エネルギー消費量に対して20%以上削減されていること。  <input type="checkbox"/> 省令準耐火構造又は耐震等級3は適用除外とする。	
3. 優良建築物型	<input type="checkbox"/> OBEI=0.9以下とする。  <input type="checkbox"/> 省令準耐火構造又は耐震等級3は適用除外とする。	